

生殖発生毒性等ワーキンググループにおける評価の進め方

1. 生殖発生毒性等の知見を毒性分類毎に整理

- ・評価の基準（試験結果の重み付け）を作成
- ・試験結果の重み付けを踏まえた上でレビューを実施
- ・海外におけるレビュー内容を参考

（作業分担）

①に基づき、②、③、④について総括的に整理。

① 試験結果の重み付け

青山専門参考人

② 生殖発生毒性

青山専門参考人（FDA）、堤専門参考人（EFSA）、
那須専門委員（Health Canada）、納屋専門委員（NTP）

③ 発達毒性

井口専門委員、長尾専門委員

④ 神経毒性

岸専門参考人、遠山専門委員

2. 厚生労働省における研究報告内容の確認

極めて低用量において性周期の異常が報告されている厚生労働省の報告内容について、1. の試験結果の重み付けを踏まえ、データを確認。

- ・現在、厚生労働省に補足資料の提出を依頼中。